

サルナシ (*Actinidia arguta*) の増殖法の検討

戸澤一宏

The reviewing of the propagation method of *Actinidia arguta*

Kazuhiro TOZAWA

Abstract : It reviewed about the propagation method of the *Actinidia arguta*. The *Actinidia arguta* has the fear that the individual which doesn't have fruit comes out when the individual who puts a bisexual-flower with the individual who puts a male flower makes a young plant with tendency for some purpose.

Therefore, it reviewed about the multiple by the quickset which doesn't have a genetic change and it reviewed about the condition for the efficient young plant production.

要旨：サルナシの増殖法について検討を行った。サルナシは雄花をつける個体と両性花をつける個体があるため、趣旨から苗を作ると実が付かない個体がでるおそれがある。そこで遺伝的変化のない挿し木による増殖について検討し、効率的な苗生産のための条件について検討した。

1 はじめに

サルナシ (*Actinidia arguta*) は、またたび科の蔓性植物で実を食用にしたり、蔓を蔓細工の原料にと有用な植物である。実は生食はもちろんジャムやフルーツソースに利用可能で、また果実酒は低血圧・貧血・疲労回復などに効果があるとされ、これから期待される特産林産物である。(Photo-1)

サルナシには雄花のみをつける個体と両性花をつける個体があるため、実を利用する場合、両性花をつける個体からの挿し木による増殖がもっとも適していると考えられる。種子からの増殖では雄花のみの個体がでる可能性があるためである。

また、挿し木により得られた苗の方が早く実を可能性もあることから、諸条件について考察し、苗を作出するもっとも効率的な条件について考察した。

2 試験方法

サルナシの挿し木に用いる部分は、昨年徒長枝を用いた。用土としては鹿沼土単用で行った。徒長枝は、実をつけることはほとんどないので、苗の作出には最適である。

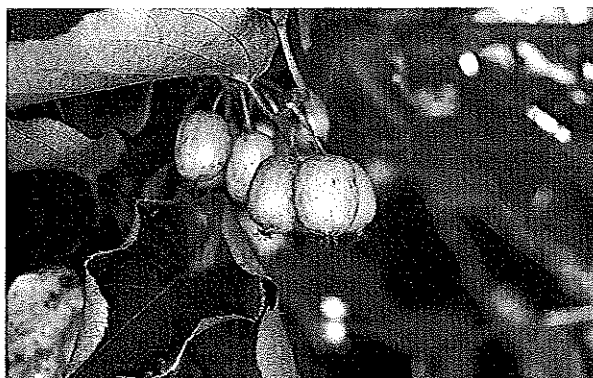


Photo-1 サルナシの果実

2-1 前処理の影響

挿し木前の前処理の影響について検討した。Table-1に前処理方法の条件を示す。この条件の下、1晩浸水させておき、翌日挿し木の作業を行った。

Table-1 Condition of steep

No.	Condition
No. I	Control
No. II	水道水
No. III	水道水+メネデル

2-2 挿し床の影響

挿し床の用土について、検討した。Table-2に用土の組成を示す。

Table-2 Composition of Soil

No.	Condition
No. I	鹿沼土
No. II	赤玉土
No. III	鹿沼土+プロミックス(10% Vol.)
No. IV	赤玉土+プロミックス(10% Vol.)
No. V	赤玉土+鹿沼土+プロミックス(10% Vol.)

2-3 挿し穂径の影響

成功率に対する挿し穂径の影響について検討した。Table-3 に条件を示す。

Table-3 Condition of Diameter of cutting

No.	Condition
No. I	under 3mm
No. II	3mm-6mm
No. III	over 6mm

3 結 果

3-1 前処理の影響

成功率に及ぼす前処理の影響を Table-4、Fig.1 に示す。

Table-4 Result of examination

No.	試験数 (本)	成功 (本)	枯死 (本)	成功率 (%)
I	87	34	53	39.1
II	87	68	19	78.2
III	87	70	17	80.5

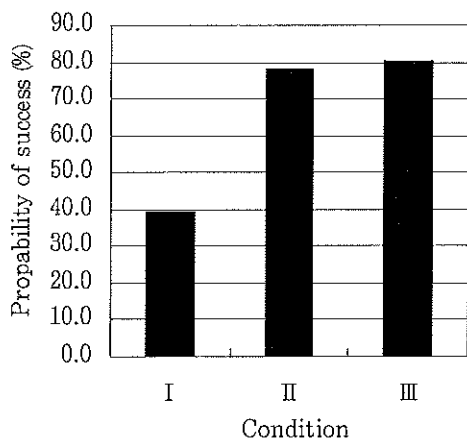


Fig. 1 Effect of steep condition on Propability of success

1晩、水に浸水させておくだけでも成功率に与える影響は大きい。

3-2 挿し床の影響

Table-5、Fig.2 に成功率に及ぼす挿し床の影響を示す。

Table-5 Result of examination

No.	試験数 (本)	成功 (本)	枯死 (本)	成功率 (%)
I	40	26	14	65.0
II	40	21	19	52.5
III	40	33	7	82.5
IV	40	24	16	60.0
V	40	31	9	77.5

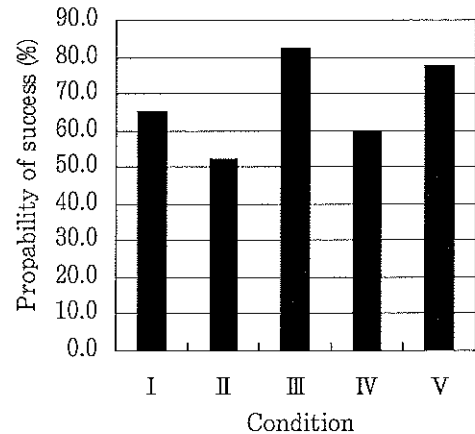


Fig. 2 Effect of steep condition on Propability of success

挿し床には鹿沼土+プロミックス(10% Vol.)が効率的であることが判明した。

3-3 挿し穂径の影響

Table-6、Fig.3 に成功率に及ぼす挿し穂径の影響を示す。

Table-6 Result of examination

No.	試験数 (本)	成功 (本)	枯死 (本)	成功率 (%)
I	31	21	10	67.7
II	38	29	9	76.3
III	36	31	5	86.1

挿し穂径は概ね 5 mm 以上の径を用いると効率的に苗の生産ができる。径が小さいと芽は出るが、根がでる前に枯死してしまうものが多くなり、成功率は下がる。

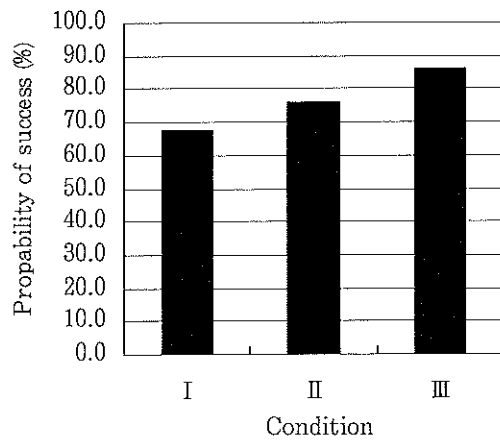


Fig.3 Effect of Diameter f cutting on Propability of success

4 考 察

サルナシの挿し木の成功率に及ぼす影響について試験したところ、以下のような条件で効率的な苗の生産ができることがわかった。

1. 挿し穂の径は 5 mm 以上のものを用いる。
2. 挿し床は鹿沼土+プロミック (10%vol.)
3. 1 晩水に浸水させておく。